

施策番号	0702		
施策名	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）		
概要	国際的・全国的規模の競技大会の開催・振興に向けて、西京極諸施設の競技・観戦環境の充実、マラソン等の総合スポーツイベントの開催、プロスポーツへの支援の促進に取り組む。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数(日)	-	a	111	114	92	123.9%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる 機会がある。	23	76	172	138	126	535	d
		4.3%	14.2%	32.1%	25.8%	23.6%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言いうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言いうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						23 年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	d			
(重み付けの理由) 市民がトップレベルのスポーツに身近に触れることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。								
(原因分析) 客観指標に掲げた開催日数が昨年度より増え、目標を大きく上回っているにもかかわらず、市民の方の実感については、トップレベルのスポーツを身近に感じている方は2割に満たないことから、幅広い方を対象とした広報や集客に取り組む必要性がある。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	京都スポーツの殿堂	9,593	9,624	かなり良い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・「京都スポーツの殿堂」殿堂入り者による「伝道事業」を開催し、子どもたちや市民にスポーツの魅力を発信するとともに、プロスポーツやトップレベルのスポーツに触れていただく機会を提供する。

施策名	0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）				
指標名	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数（日）					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 8		
1 指標の説明						
プロスポーツ及び競技範囲が全国に及ぶ大会の開催延べ日数						
2 指標の意味						
市民が、プロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができていることを示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	111	114	3日増	92	20年度の数値（76日）と32年度に土日祝日にすべて開催されている状態（120日）を目標として各年度の目標を等比的に算出	123.9%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		120日	32年度	95.0%	京都市市民スポーツ振興計画（プロスポーツ・全国規模大会の開催日数を32年度に年120日開催を目指す）	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値達成以上をa、以下を10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
		23	24			
-	a	a				